



米里中学校



Thanks Mail

洋服の青山 東苗穂店

この度は、お忙しい中、職場体験をさせていただきありがとうございます。
時間に間に合わない者がいたりご迷惑をおかけしてしまい、すいませんでした。服のたたみ方を丁寧に教えていただきうれしかったです。家でも、自分でも服をたたむようになりました。家などでも、そうじを積極的にやっています。職場体験ができよかったです。
色々な体験させて頂きありがとうございました。
2年0・R

お客様を迎える準備を通じて、働くことの意義を感じ取る

洋服の青山
東苗穂店

紳士服が揃う「洋服の青山」東苗穂店で、開店時間の10時から男子生徒6人が始めたのは店内の清掃です。

2組に分かれ、まずは三脚に乗って玄関のガラス戸を上から下へ、きれいに拭いていきます。次はカバンやワイシャツの陳列棚へ移動。商品をいったんよけて棚を拭き、また元に戻します。陳列棚に並ぶワイシャツの総数は約1,200枚。5、6枚ずつ重ねられているワイシャツをよけては棚を拭き、よけては拭きと、一生懸命作業をするものの、なかなか終わりません。みんな汗だくです。

そんな中、お客様が帰るときに、ある生徒が棚を拭きながら小さな声で「またのご利用をお待ちしています」

と言いました。接客指導はされていなかったのに、店員の方を見習って自発的に声が出たのです。それを聞いた店員の方が「声を出してみよう」と提案し、みんなで掃除の手を止めてあいさつの練習をしました。掃除に戻り、最初は小さな声しか出なかった生徒も、だんだん慣れてくると大きな声で「ありがとうございました」と言えるように。「一番声が出ていたね」と褒められて、誇らしそうな表情で掃除を続ける生徒もいました。

「お客さまを迎える準備作業を通じて、働くことの意義を感じ取ってほしい」という店員さんの意図が伝わった場面でした。



緊張がとけて、ようやく積極的に。自ら作ったラーメンにも大満足!

(有)トータルプロジェクト
らーめん
暖の里

「らーめん暖の里」に隣接する工場、午前中にチャーシュー作りなどを見学した男子生徒3人。店が混雑する昼食時を迎え、いよいよ店で接客やラーメン作りに挑戦です。接客担当の生徒はオーダーを厨房に伝えますが、緊張のあまり小さな声しか出てきません。一方、厨房で待機する生徒は、厨房と店内を仕切るのれんがあるため店の様子がよくわからず、何をしたいのか戸惑っている様子です。「『ありがとうございました』と聞こえてお客様が帰ったら、食器を片付けて」と、お店の方に促されてひとりが動き出し、ほかの生徒も「洗い物はやりませ」と積極的に働き始めました。

この日は、生徒たちは早めの昼食を

とることに。メニューは自分たちで作るラーメンです。おいしいラーメンには欠かせないめんを湯切りを練習し、ゆで方の指導を受けながらラーメン作りに挑みます。ゆで上がっためんを湯切りして器に入れたら、お店の方がスープを注いで、めんをほぐしてくれます。そこにネギやめんまを好きなだけ乗せて完成です。

自ら作ったラーメンをスープまできれいに平らげた生徒たち。中には「接客や台所回りの仕事に興味があるので、食品関係の仕事がしてみたい」という生徒もいました。今日の経験が将来生かされる日がくるかもしれませんね。



チームワークで大量の食器洗いをこなし、頑張ったごほうびも!

肉の割烹
田村
菊水元町店

ここはレストラン「肉の割烹 田村」の洗い場。女子生徒2人と男子生徒1人がてきぱきと動いています。1人は下がってきた食器の残飯を捨て、下洗いのシンクへ。合間を縫ってコップも洗います。もう1人は一心不乱に食器の下洗い。男子生徒は下洗いが済んだ食器をかごに並べて、食器洗浄機へ。「ブーッ」と洗浄終了の合図が鳴ると、食器を取り出して定位置に戻します。

チームワークよく働く3人に「少し教えただけなのに、みんな学習能力がある」とお店の方も感心しています。

大中小の皿や茶碗、お椀にコップと、いろいろな食器が棚に集まってき

て、生徒たちは休む間もありません。棚が空になったと思っても、すぐに使い終わった食器が下げられてきます。お店の方が「そろそろ昼食にしましょう」と声をかけますが、積み上がる食器を見ると不思議と体が動いてしまうようで、なかなか中断できません。

ようやく昼食にありつけたのは午後1時半過ぎ。1時間以上も立ちっぱなしでしたが、あまりの忙しさに「20分くらいに感じた」と言う生徒もいました。そんな頑張りへのごほうびに、お店から食後にアイスクリームのサービスが。声を揃えて「おいしい!」と言う3人は、労働の満足感も一緒に味わったようです。



東札幌小学校



Thanks Mail

北日本石油(株) ローズアベニュー白石
 「職業体験をさせていただき、ありがとうございました。なかなか体験できないスタンドのお仕事をさせていただきました。とてもためになりました。ここでさせていただき、とても将来につなげていきたいです。学んだ事はいつか将来につなげていきたいです。印象に残っていることは、皆さんとお話したことです。とても楽しかったし給油の仕方やお客さんへの対応の仕方も優しくていねいに教えていただきました。おかげで大きな声を出せるようになりました。知らない方と接しても緊張しないで、上手く話せるようになりました。短い間でしたが、笑顔の大切さなども教えていただき、本当にありがとうございました。コスモ石油さんの元へ行って、とても良かったです。6年 A・S

自分ができる仕事を見つけて積極的に動くことが何より大切

「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」。元気な挨拶と、親切なサービスが魅力のガソリンスタンドをでっち奉公場所に選んだ、車好きの男子児童5人。普段は、自宅の車の清掃もあまり手伝わないそうですが、仕事となれば話は別。お店の方が教えてくれる、清掃のコツや接客マナーにも熱心に耳を傾けます。お客さんが来店するとパッと反応し、窓ガラス拭き、洗車後のから拭き、接客のお手伝いと、5人それぞれが役割を分担。「みんな、積極的に動いてくれるから助かります」と、お店の方の評価も上々です。

全員、「初めて触った」という給油ノズルの操作や、エンジンルームの点

検もガソリンスタンドならではの。特にエンジンルームなど、みんな興味津々にのぞきこんでいました。最初こそ声も小さく緊張した顔つきでしたが、慣れるにしたがって自然な笑顔に。給油を終えたお客さんを見送るときも、「ありがとうございました」と大きな声が出るようになりました。ガソリンスタンドの制服に身を包んだ小さな5人が揃って頭を下げる姿に、お客さんまでがにっこり。その表情を見て子どもたちは「これからは自宅の車にも、もっと関心を持ちます」と、ピカピカ笑顔で話してくれたのが印象的でした。

北日本石油(株)
ローズアベニュー
白石



個性が形になることを知った初めてのフラワーアレンジメント

フーリスト
彩花

南郷通に店舗を構えるフーリスト彩花。建物内は想像以上に広く、事務所や倉庫、打ち合わせのためのスペースまで確保してある、大きなフラワーショップです。こちらにやってきたのは、3人の女子児童。午前中は店内の清掃や雑用などをこなし、午後からはお待ちかねのフラワーアレンジメントに挑戦です。みんな口を揃えて「お花が大好き!」とはいうものの、初めての体験にやや緊張気味。でも、先生役を買って出てくれたお店の方のアドバイスを受けながら、小ぶりの花瓶に季節の花を次々と挿していきます。「時々、ちょっと遠くから見たり、回して見たりするとバランスよく仕上がりますよ」と教えられ、少

し考え込む場面も。それでも最後は、ガーベラ、ケイトウ、カーネーション、スプレーバラ、紫りんどうなどが彩りよく飾られ、とてもきれいに仕上がりました。それに3つの作品には、3人それぞれの個性がちゃんと発揮されていました。

「フラワーアレンジメントは技術よりも、個人個人が持っているセンスを形にするもの。だからみなさんもいろいろなモノをたくさん見て、触れて、感性を磨くようにしてくださいね」という先生の言葉に、大きくなすいていました。



知らなかったことを学ぶそこに新たな興味が生まれる

池田食品(株)

お菓子や創作豆を製造・販売する池田食品。創業以来、60年以上続く老舗の会社です。それだけに、原材料の産地や味に対するこだわり、安全・安心に対する気遣いは並大抵ではありません。工場内に入るには持ち物チェック、手や爪先の殺菌消毒、白衣・帽子・マスク・手袋の着用など、衛生管理や品質管理が徹底的に行われています。そこにお手伝いに来てきた5人の少年たち。食品工場を見学するのはみんな初めてです。「こんなに広いと思わなかった」「見たことのない機械ばかりでびっくり」「商品の種類もすごくたくさんあるんですね」と、率直な感想を口にしていました。

工場内での仕事は、機械操作によ

て運ばれてきた豆を袋詰めし、それをシーラーという機械で閉じる作業です。少しでも分量が違えば自動的にハネられるため、計量機を見つめる目は真剣そのもの。次に、袋詰めされた商品に欠けや変色など、異常がないかを自分の目で確かめるという作業もこなしました。その後、商品や原材料が山のように積まれた各倉庫を案内してもらって終了。「お店で売られているお菓子や豆は、こんなふうには作られていたんですね」と、製造の過程を学んだ、有意義な1日でした。



白石中学校



Thanks Mail

やきとり元太

先日は大変お忙しい中、私たちの職業体験のために、大切な時間をさいてまで協力いただき誠にありがとうございました。分からないことがあったり失敗をしたりして大変迷惑をおかけしました。

元太さんの皆様とお昼ご飯をいただいたり、ほくたちが緊張している中楽しい会話、焼きとりの焼き方、くしのさし方などありがとうございました。

2年 N・Y

接客の体験で 他人に対する心遣いを学ぶ

やきとり 元太

おいしそうな焼き鳥の香りですばいのお店「やきとり元太」は、学校のすぐそばにあります。「部活の送別会で来たことがあります」という野球部の男子生徒2人。今回は、お客様ではなくお店の一員です。掃除や接客、キャベツの千切りなど、与えられた仕事に真剣に取り組めます。

初挑戦の接客では、大将から「器の外側に焼き鳥のタレがついていたら、拭いてからお客様に渡すように。お客様の目線で考えなさい」と教えてもらい、すぐに実践します。「やっぱり緊張します。料理の置き方を考えたり、意外と難しい」と言いながらも、お茶を出す際には「お熱いので気を付けてください」と心遣いを見せました。大きな声で「いらっしゃいませ」

「ありがとうございます」とお客様に呼びかけ、お店を盛り上げます。「家でも食器を洗ったり、手伝いをしている」「夕食づくりを手伝ったり、たまには一人で料理することもある」と言うだけあって、食器の後片付けは手慣れたもの。その様子を見て大将も「優秀な生徒たちだ。率先して動かし、元気もある」と微笑みます。

大将が「一番難しい」と言う焼き鳥の串打ちでは、1本1本の串を規定の重さに揃えるのが思いの外難しく、大苦戦しました。大将の「頭を使い」というアドバイスを受け、時間をかけて完成させました。

2人はこの日、さまざまなことに挑戦して、心遣いの大切さと難しさを学びました。



手をかけると物は必ず売れる 商品の販売に初挑戦

リサイクルと 環境雑貨の店 ワーカーズ コレクティブ えこふりい

「えこふりい」は、リサイクル品の販売を中心に、環境雑貨や自然食品、手作り品などを扱う本通商店街にあるお店です。カフェのスペースもあり、地域に根差したお店は常連のお客様で絶えず賑わっています。ここで、2人の女子生徒が販売の仕事に挑戦しました。

「お店での接客が楽しみ」と、やる気に満ちあふれた2人には、商品のディスプレイや値段付けなど、たくさんの仕事が用意されていました。お店の方は仕事を丁寧にこなす女の子たちの姿を、「こちらの言うことをすぐに理解してくれて、とても優秀です」と温かく見守っています。

仕事にも慣れてきたころ、2人は

お客様の目に留まりやすいレジ横のディスプレイを任せられました。お店の方の「少し手をかけてあげるだけで、物は必ず売れる。小売業の楽しさを知って欲しい」という思いが伝わったのでしょうか。「どうしたら全部の商品が見えるかな」「小さい物を前に出してあげたら、見やすくなるかな」と、自分たちなりに工夫して商品を並べていきます。その横顔は真剣そのものです。思いを込めながら飾った商品は、一つひとつが輝いていました。

「商品をたくさんの人の手にとってもらいたい」と笑顔で語る2人は、商品の魅力を引き出す楽しさを知ったようです。



体験して分かる 地道な積み重ねの大切さ

誠寿司本店

お寿司屋さんの就業体験にやってきたのは、男子生徒4人。最初に体験したのは「裏方の仕事」、エビの殻むきとイカの皮むきです。エビはしっぽが取れてしまったり、タマゴがきれいに取れなかったり、失敗作もたくさんできました。イカはヌルヌルとすべる皮に苦戦し、握力がなくなったように思えるほど大変でした。でも、「1時間が10分に感じるほど、あっという間だった」と集中した様子です。4人はそれぞれに自分なりのコツをつかみ、「自分が一番上手」と自慢し合っていました。

仕込みの次は、接客です。4人は、寿司屋らしい威勢のいい声で「いらっしゃいませ」と、お客様を迎えます。「接客には関心がなかった」とい

う生徒も、お店の方の指示に従って食器の片付けをしていくうちに、自ら率先して仕事を手伝うようになりました。その傍らでは、板前の方が鋭くも温かいまなざしを向けていました。

最後は、念願の寿司を握らせてもらいます。空気を入れるように握るのがコツと教えられますが、難しくてつい大きめになりがち。口数少ない板前の方は「普段、寿司を握る機会はほとんどないから、とりあえず体験して少しでも将来のプラスにして欲しい。自分でやってみないと分からないから」と、語ります。

4人は初めての仕込みや接客の経験で、職人さんの鮮やかな手さばきの裏にある、地道な苦勞を感じ取ったようでした。

